

## 研究の倫理・コンプライアンスと大学組織

2013年7月31日（水） 18:30-20:30

研究の成果や科学の素晴らしい可能性を伝えるだけが科学コミュニケーションではなくて、科学の責任や研究の困難な過程をも伝えていくことが必要なのだと思います。（難しいです。）

研究倫理・法令遵守に関して京都大学としてどのように組織的対応が行われているかを紹介し、研究者ではない立場で、大学という組織の中で、科学に夢を持っている一市民として出来ることは何か、参加者の皆さんとお話しする中で考えたいです。

### ゲスト 野尻 知江 氏

京都大学研究国際部研究推進課 研究コンプライアンス掛長

知的財産室、日本学術振興会（ボン海外研究連絡センター）、産学連携課などを経て現職。現在の業務範囲は、研究不正（論文関係）、研究費適正管理、生命倫理、動物実験、原子力研究（学内委員会関係）、安全保障輸出管理のほか、若手研究者海外派遣事業「ジョン万プログラム」、海外助成金獲得支援など。

### 会場 京都大学 吉田泉殿

- \*京町家風の建物です。
- \*普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- \*入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

### 定員 25名程度

- \*今回の勉強会は、セミクローズドな会合です。

### 持ち物 （おなががすく時間なので）夕ご飯を持参ください。

### 主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

水町 衣里、工藤 充（京都大学）、加納 圭（滋賀大学）



\*お申し込みは水町まで